



発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話(03)3751-7181

平成13年2月16日
第23号

門連結成四十周年を祝して

京都理事会報告

平成12年11月27日 於 大本山妙蓮寺



全国日蓮聖人門下連合会結成四十周年記念法要

平成十四年、我々日蓮聖人門下では立教開宗七五〇年を迎える。ますます混迷する現代社会の中で、我々は何をなすべきか。各門流教団で様々な企画が進行中である。今こそ門下総力を挙げて真実の仏法を伝え日蓮聖人の理想実現に向け邁進しよう。

当日は、正午より受付が開始され、念法要が奉行された。午後一時より遠近各地より関係者が集った。今年念法要の開式。当日の大導師は本門法華宗大本山妙蓮寺に於いて記 本日慈観下である。

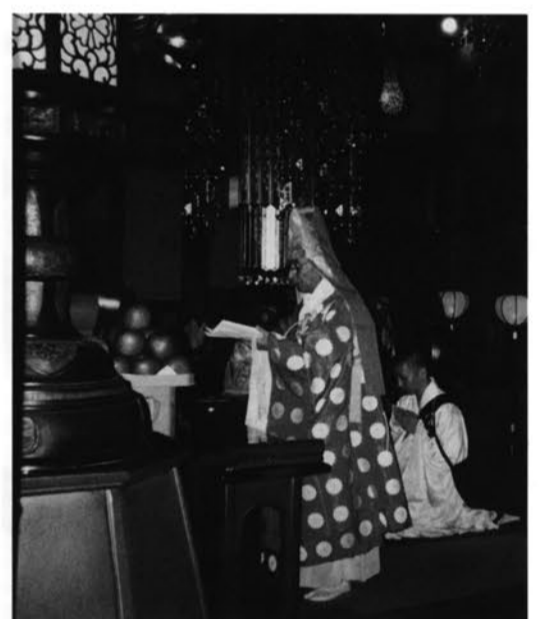


門連京都理事会

本堂内には、門連加盟各派教団の重鎮各聖及び、京門連の諸聖が参席される中、大導師より、御宝前において門連結成四十周年記念奉告文が表された。次に、渡邊清明理事長より三十周年記念法要後に遷化せられた先師三十九霊位の法名が奏上され、各霊位に対し追善の誠が述べられた。

焼香は衆を代表して、本門法華宗宗務総長高邊信幸師、門連理事長渡邊清明師、京門連理事長飯田信栄師、京門連副理事長杉若惠隆師が、また回し焼香により参席の各聖が一香を献じた。

荘厳な記念法要後、本堂前に於いて記念撮影が行われた。ふと本堂の脇に目を向けると雨中にお会式桜が開花しており、三十九先師に対する報恩謝徳の意がつけられたことへの顕現ではないかと感じた。



杉本日慈観下



四十周年記念法要

本堂内には、門連加盟各派教団の重鎮各聖及び、京門連の諸聖が参席される中、大導師より、御宝前において門連結成四十周年記念奉告文が表された。次に、渡邊清明理事長より三十周年記念法要後に遷化せられた先師三十九霊位の法名が奏上され、各霊位に対し追善の誠が述べられた。

続いて午後三時より理事会に移行し、慣例により座長には渡邊理事長が選出就任。渡邊座長の挨拶の後、事務局より京都理事会次第が配布された。報告事項として、「上半期事業報告」「京都門連事業報告」「地方門連活動報告」があった。又、その他の報告事項で、お題目の商標登録について登録無効の審決が行われた旨報告があった。本件は「南無妙法蓮華經」の文字を酒のラベル等に表示し、「酒類」を登録指定商品とするものであった。しかし、これを指定商品に使用したときは、仏教に関係する語を表示したものと理解される

として、自他商品の識別標識として認識されることはないとの理由が相当である、との理由により登録無効の審決がされたものであった。次に案件である「立教開宗七百五十年慶讃記念事業に関する件」について討議に入った。長期に亘って検討してきた「法華文化展(仮称)」が昨年の身延理事会上に於て、諸般の事情により計画を一旦白紙に戻すことが決定しており、新たに事業を検討することとなったが、加盟各派それぞれが既に独自で事業に着手しており、他の事業に参画する人的並びに経済的余裕がないといった事情もあり、特に新たな事業について代替案はなかったが、日蓮宗に対してフジテレビから「日蓮展(仮称)」の企画がきている旨報告があった。内容的には「法華文化展」と同様であるが、東博での展示と合わせて、その模様をフジテレビ番組内で放送することにより相乗効果が期待できる。しかし、展示品のリストがどこまで揃うかが問題であり、今後の話の進め方については、日蓮宗が窓口となつて逐次報告を常任理事会へすることとし、門連加盟各派教団の合意を得て、推進する方向でいくこととした。

年に一度の京都理事会であるが、全門連参加者二十八名、京門連参加者二十七名、計五十五名が一同に集まり、意見を交わし、門連結束の思いを強くした。理事会終了の後一行は、懇親会の席を「中村楼」へと移し、晩秋の京都を満喫した。

今回色々とお世話いただいた京門連の各聖、妙蓮寺の皆様には厚く御礼を申し上げますと共に、立教開宗七五〇慶讃事業の円成に向けて門下一同積極的に取り組んで参りたいものである。

お願い
「門連だより」の継続発展のため各派のご協力を切に願います。本紙に対する感想要望など、ぜひお寄せください。
「日蓮聖人門連だより」編集委員会

從地涌出

◆時は今から七四九年前の四月二十八日、場所は房州安房の国清澄において、日蓮聖人は立教開宗された。「法華經」に説かれた地涌の菩薩のご自覚を、日本国の中においてただお一人と信解され、昇りくる旭日に向かっての大法開宣であった。

先日、日蓮聖人のご生誕の地を訪れたが、壮大な太平洋から昇りくる旭日、周りに広がる房州の山々は、まさに虚空会の会座そのものであった。「日蓮は太陽の子」と聖人みずから仰られた。ならば、太陽は父・釈尊であり、そこから出る光は、大慈悲の光明であろう。その光明を毎日体に浴びながら、多くの人は有り難いという感謝の気持ちや仏子としての自覚を持っていないのが現実である。

◆我々門下にしても「一天四海皆帰妙法」という大誓願をかざし、護法活動を続けている気になつてはいないか。何事も言うは易しで、自らの欲や我にとらわれて、誓願も机上の言葉に終わってしまいか。誓願とともに今必要なことは、感ずることを行することである。日蓮聖人は、まさに「法華經の行者」であられた。ならばその弟子に連なる我らの行うことは一つ。日蓮聖人の意と同じお題目を身に読み、それを一人でも多くの人に伝えることが行ずることの第一歩である。自らが感ずることなく、人に伝えることはできない。日蓮聖人を師と仰ぎ異体同心するならば、我ら門下結集して報恩感謝の気持ちを持ち、二十一世紀に通用する行を実践していくべきであると思う。法華經に基づく「自行化他」。これが今世紀においての必要なキーワードであると感ずる。簡単なことばに表すのでなくまずは自分で行ずる。立教開宗七五〇を迎えるにあたり、全門下等しく心構えを一つにして実践すべきことであらう。

(五)

立教開宗
750年に向けて

「経巻相承・直受日蓮」を宗是とし 布教伝道に総力をあげる

わが顕本法華宗では、来るべき平成十四年の日蓮聖人立教開宗七五〇年に向けて様々な事業を計画し、順調に進行中です。

慶讃事業の目的と理念について

日蓮大聖人立教開宗七五〇年を慶讃し、宗門・本山を挙げて、宗祖の報恩を旨に、わが顕本法華宗立教の根本を見つめ直し、顕本法華宗宗徒としての誇りを、僧俗ともに持てる運動を展開致します。

具体的には、「一、正しい本尊をおまつりする運動」「二、本山の諸堂営繕」を二本の柱とします。更に、様々な慶讃事業を通じ、新しい布教

慶讃事業の組織について

去る平成十年六月、慶讃事業の骨子を企画する為、奉行委員会が組織されました。

宗務総長を委員長に、宗務次長と本山総務を副委員長とし、本山総務は事務局長を兼務します。委員には、宗会議員・教務所長より四名が選任

事業内容について

正しい本尊をおまつりする運動
冒頭にも申し上げましたように、一番肝心な報恩運動の中心テーマは、檀信徒の皆様が「本尊を正しくおまつりする」ことを呼びかけることにあります。

本宗では、日蓮大聖人定意のご本尊を本山より下附することにより、正しいご本尊の統一を図って参りました。しかしながら、末寺檀信徒の皆様の実情は、正しいご本尊をおまつりしていないご家庭も多く見受けられます。本山では立教開宗七五〇年を記念して、新たな装丁のご本尊の下附を

総本山妙満寺の営繕事業

総本山妙満寺は、昭和四十三年に寺町二条より、現在左京区岩倉に遷堂。以来三十余年が経過し、諸堂老朽化が進んで参りました。

信仰の中心である総本山妙満寺の営繕は、本師釈迦牟尼仏を始め、宗祖日蓮大聖人、開祖日什大正師への報恩の誠を捧げる、宗門を挙げての大切な事業です。

当初、諸堂の屋根瓦葺き替え工事に着工。この資金には、本山会計の他、全国末寺様より寺院等級に応じた割り当て金をお願いし、完了致しました。

続いて、七五〇年慶讃事業の篤志寄付の勧募を行い、諸堂改修を予算計上させて頂きました。お陰さまで、宗門内外のご協力を頂きまして、寄付金は予算額を越えるお申し込みがあり、これも昨年平成十二年秋に当初計画分を完了することができました。

工事対象は、展示室・収蔵庫・本堂階段・渡り廊下・仏舎利塔・男子及び女子手洗所等です。

その他、本山の単独工事として、管長室・会議室・応接室・駐車場等の改修工事が完了致しました。

平成十四年に奉行される正当大法要にお参りになれる檀信徒の皆様をより気持ち良くお迎えできるようにしよう。

日蓮大聖人立教開宗七五〇年 慶讃「報恩のつどい」開催

「開宗七五〇年の歴史の節目に、祖願である『立正安国』のご精神を社会に顕現させるために、多様な角度から『法華経の精神』を説き、僧俗共に本宗宗徒としての自覚と連帯感を深め、感応の喜びを共有すること」を目的・理念に置き、「正しいご本尊をまつる」というご報恩運動の起点となる大会を目指します。

「開宗七五〇年の歴史の節目に、祖願である『立正安国』のご精神を社会に顕現させるために、多様な角度から『法華経の精神』を説き、僧俗共に本宗宗徒としての自覚と連帯感を深め、感応の喜びを共有すること」を目的・理念に置き、「正しいご本尊をまつる」というご報恩運動の起点となる大会を目指します。



立教開宗七五〇年慶讃
事業実行委員会事務局長
大川 定信

全国を東西に分け、昨年十月三十一日に岡山県倉敷市文芸館において西部地区大会を既に開催、東部地区大会は、本年六月二日に千葉県東金市文化会館での開催に向けて準備が進行中です。

構成は東西共に三部構成で、一部法要、二部講演・布教ビデオ放映(東部はパネルディスカッションを予定)三部清興です。特に一部の法要は、通常の寺院という空間から離れたホールを使用することにより、音響・照明等を駆使し幽玄な演出効果が得られ、西部地区では檀信徒の感想も上々で、大きな法悦を得ることができたと自負しております。東部地区では更に新しい試みを行なう予定です。

「慶讃大法要」奉行

平成十四年四月二十七日から二十九日の三日間の日程で、京都総本山妙満寺において「立教開宗七五〇年慶讃正当法要」を奉行します。文字通り立教開宗を慶讃するメインの行事であることは申すまでもありませんが、荘厳かつ厳粛な法要を目指す為、青年僧の法要所作研修、それに連動した声明本の出版、本山備品の法衣、雅楽器の新調等、各部署で活動が進行中です。

東京の別格山、天妙国寺の万灯奉納の他、楽しく思い出に残るイベントを行なうことが決定しました。その他、宗門内外に向け立教開宗七五〇年の慶讃をアピールできる手段を模索中です。

記念出版

本宗檀信徒用経本「朝夕のおつとめ」に連動して、古瀬日宇現下に本宗の布教誌「心の宝」に連載頂いていた「おつとめのお経」二回文の解説」を再編集し単行本化して出版します。

してお示しになられた法華経の心を、可能な限り平易に解説して、法華経・お題目の普及の資糧になればとのささやかな願いが込められております。

巡回布教

平成十二年度より平成十三年の二年間に亘り、教区単位の巡回布教をおこなっております。平成十二年は主に東日本地区教区(一〜五教区)、平成十三年は西日本地区(六〜八教区)を重点教区としました。

巡回布教師には、本宗の布教総監、特命布教師はもとより、宗務総長、本山総務等の宗門役職者に依頼し、前講として当該教区の布教師がその任に当たっております。講演の主題を「正しいご本尊をまつる」に統一し、ご本尊の啓蒙・普及運動と一体になるものです。

また、各寺院を廻り、檀信徒と直接触れ合うことにより、立教開宗七五〇年の報恩の意義、慶讃事業全体の啓蒙、ムード作りの一助にもなりうる事業と考えます。

日蓮聖人門下連合会

●目的
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

- 事業
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

加盟団体

- 日蓮宗 法華宗本門流
- 顕本法華宗 法華宗陣門流
- 本門佛立宗 日蓮本宗
- 法華宗真門流 本門法華宗
- 国柱会 日本山妙法寺
- 京都門下連合会

美しい時代へ
東急グループ

行ってらっしゃい、 いい旅へ。

豊富な経験と実績を生かして、いちばんの旅をおつくりします。大きな感動と、心に残る出会いのために。私たち東急観光は、総合力でお応えします。豊富な商品と旅のプロフェッショナルが、個人旅行から団体旅行まできめ細かく対応。全国網の支店と海外の主要拠点を結び、充実のネットワーク。お客様一人ひとりのご要望と目的にあわせて、旅のプロローグからエピソードまで演出します。あなたにいちばんの満足。

旅のすべてを知っている東急観光です。



護法団参は、日蓮宗指定旅行社の
東急観光にお任せください。



豊かな感動のステージへ
東急観光
運輸大臣登録旅行業第38号 日本旅行業協会正会員
〒153-8550 東京都目黒区東山3丁目8番1号
http://tour.tokai.com
TEL.03-5704-3761

祈

立教開宗七五〇年

奉讃円成

日蓮聖人門下連合会



(平成十三年二月現在)

日蓮宗宗務院

管 長 藤井 日光
 宗務総長 渡邊 清明
 宗務副総長 加賀美泰全
 総合企画部長 篠原 智高
 庶務部長 垣本 孝精
 財務部長 野坂 法雄
 教務部長 中里 親正

日蓮宗本部部長 田端 義宏
 立教開宗七五〇年 田澤 元泰
 日蓮宗本部部長 石川 浩徳
 現代宗務研究所所長 川名 義顕
 国際開教室長 藤崎 一明
 人権対策室長 堀江 宏正
 参 与 浅井 玄裕
 参 与 菊池 泰瑞

〒146-8544 東京都大田区池上一丁目二一
 池上本門寺朗峰会館内日蓮宗宗務院本庁舎
 電話 〇三(三七五)七七八(代)
 FAX 〇三(三七五)七七一八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長 岡 本日 巨
 宗務総長 原 井 慈 鳳
 教化部長 圓 成 淳 龍
 教学部長 桃 井 晋 城
 財務部長 坂 卷 顕 導
 庶務部長 矢 吹 慈 英

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目十九番一
 電話 〇三(五六一)四三〇五五
 FAX 〇三(五六一)四三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 吉永 日晴
 宗務総長 中村 通義
 宗務次長 渡辺 昭夫
 社会部長 大塚 正純
 庶務部長 島田 幸晴
 財務部長 藤崎 行学

教務部長 大森 俊栄
 布教部長 早川 義正
 主 事 多門 顕正
 主 事 津村 乗信
 主 事 飯沢 道安
 主 事 小松 正学
 主 事 前田 成明

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木 木 日 艸
 宗務総長 土 屋 善 敬
 総務部長 佐 古 弘 文
 教学部長 門 谷 東 生
 財務部長 八 木 恵 岳
 教化部長 佐 古 大 弦

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五丁目三十五番一六
 電話 〇三(三九一)八七二九〇
 FAX 〇三(三九一)八七二九〇

本門佛立宗宗務本庁

管 長 野 崎 日 丞
 宗務総長 井 本 日 裔
 宗務副総長 高 尾 日 慶
 宗務副総長 佐 藤 日 音
 宗務副総長 藤 本 日 造

宗務本庁役員一同

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町二丁目一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一五六六(代)
 FAX 〇七五(四六一)一五六六(代)

日蓮本宗宗務院

管 長 嘉 儀 日 有
 宗務総長 高 見 正 弘
 総務部長 佐 藤 哲 夫
 財務部長 岩 崎 隆 義
 法務部長 岩 崎 広 義

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務院

管 長 吉 田 日 襄
 宗務総長 斎 藤 隆 彦
 総務部長 上 田 浩 岳
 教学部長 辻 本 寛 孝
 教化部長 水 野 智 啓
 財務部長 堀 野 智 泰
 社会部長 木 村 完 祥
 主 事 本 多 信 正
 主 事 足 立 真 正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四二)五七六二
 FAX 〇七五(四四二)五七六二

本門法華宗宗務院

管 長 杉 本 日 慈
 宗務総長 高 邊 信 幸
 宗務部長 信 隆 允 忠
 宗務部長 増 田 隆 雄
 宗務部長 藤 井 宏 長
 宗務部長 土 井 信 教
 庶務部長 音 羽 隆 全
 教務部長 持 地 光 学

門連兼任理事

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
 妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五二七

国柱会

宗教法人

会 長 田 中 暉 丘
 理 事 長 大 橋 邦 正
 門連理事 秋 場 善 彌
 門連理事 淀 野 寿 夫

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九一八
 電話 〇三(三五六)七一〇二(代)
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
 http://www.kokuchukai.or.jp

京都日蓮聖人門下連合会

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入
 頂妙寺布教会館内
 電話 〇七五(七六二)二四一八
 FAX 〇七五(七六二)九三三八

会 長 金 山 日 龍
 副 会 長 嘉 儀 日 有
 理 事 長 杉 若 恵 隆
 副 理 事 長 高 見 正 弘

日本山妙法寺大僧伽

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七一番地
 電話 〇四(二三七八)三三九五
 FAX 〇四(二三七九)〇七四四

首 座 塙 行 幸
 長 老 石 山 定 光
 長 老 吉 田 行 典
 長 老 酒 井 天 信
 長 老 今 井 行 康
 長 老 西 堀 行 施
 長 老 二 宮 和 嘉
 長 老 今 井 行 順



祈・立教開宗七五〇年 奉讃円成

(平成13年2月現在)

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話〇二五六(三三)〇〇〇八</p> <p>眞首 眞鈴 眞木 眞日 眞長 眞保 眞行 眞宣 眞事 眞木 眞顯 眞正 眞栗 眞田 眞孝 眞之 眞高 眞橋 眞俊 眞二 眞下 眞間 眞要 眞一</p> | <p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話〇七五(七九)七一一一 FAX 〇七五(七九)七二六七</p> <p>眞首 眞吉 眞永 眞晴 眞務 眞大 眞川 眞定 眞山 眞本 眞晃 眞道 眞津 眞村 眞乘 眞信 眞小 眞松 眞正 眞学 眞林 眞田 眞孝 眞瑞 眞補 眞前 眞成 眞朋</p> | <p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一―一―一 電話〇三三七(五二)三三三一 FAX 〇三三七(五二)三三五〇</p> | <p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話〇五五六(二二)〇一一一 FAX 〇五五六(二二)〇一九四</p> <p>法主 眞藤 眞井 眞日光 眞務 眞伊 眞藤 眞通 眞明 眞役員 眞一同</p> |
| <p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話〇七五(四六)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六)四六五一</p> <p>住持 眞野 眞崎 眞日 眞丞 眞三十三世 眞有 眞事 眞長 眞佐 眞々 眞木 眞日 眞調 眞事務局 眞長 眞伊 眞藤 眞隆 眞之</p> | <p>日蓮本宗 本山要法寺</p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話〇七五(七七)三三九〇 FAX 〇七五(七七)五九一四</p> <p>眞首 眞嘉 眞儀 眞日 眞有 眞大 眞学 眞頭 眞丹 眞治 眞日 眞遠 眞事 眞長 眞高 眞見 眞正 眞弘 眞岩 眞崎 眞広 眞義</p> | <p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話〇七五(四五)三三二七 FAX 〇七五(四五)三三九七</p> <p>眞首 眞杉 眞本 眞日 眞慈 眞事 眞長 眞飯 眞田 眞信 眞栄 眞役員 眞一同</p> | <p>法華宗(眞門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話〇七五(四四)五七六二 FAX 〇七五(四四)五六六六</p> <p>眞主 眞吉 眞田 眞日 眞襄 眞事 眞長 眞笹 眞木 眞研 眞秀 眞補 眞事 眞本 眞矢 眞放 眞眞 眞文 眞足 眞立 眞多 眞信 眞正 眞正 眞小 眞島 眞玄 眞真 眞正 眞正 眞岩 眞崎 眞峻 眞城 眞暉</p> |
| <p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話〇五四(四八)一〇〇〇四 FAX 〇五四(四八)一〇〇〇三</p> <p>眞首 眞本 眞間 眞日 眞諄 眞事 眞長 眞井 眞出 眞教 眞道 眞参 眞与 眞坪 眞井 眞親 眞雄 眞与 眞齊 眞藤 眞文 眞曜</p> | <p>初転法輪 鎌倉開教七百五十年霊地 日蓮宗本山 比企谷 妙本寺</p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一―一五一一 電話〇四六(七三)〇七七七 FAX 〇四六(七三)六九六七</p> <p>眞首 眞加 眞藤 眞日 眞暉 眞事 眞長 眞大 眞埜 眞稔 眞申 眞立 眞野 眞正 眞泰 眞山 眞務 眞役員 眞一同</p> | <p>日蓮宗大本山 妙顕寺</p> <p>〒602-0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話〇七五(四一)〇八〇八 FAX 〇七五(四一)〇八四八</p> <p>眞首 眞山 眞田 眞一 眞光 眞事 眞長 眞原 眞光 眞司</p> | <p>立教開宗之霊地 出家得度 日蓮宗大本山 清澄寺</p> <p>立教開宗七五〇年慶讃団参奉行</p> <p>〒299-5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄 電話〇四七(〇九)四〇五二五 FAX 〇四七(〇九)四〇五二七</p> <p>別当 眞奥 眞邨 眞日 眞鳳 眞事 眞長 眞東 眞崎 眞孝 眞信 眞参 眞事 眞宮 眞崎 眞雅 眞宣</p> |
| <p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>〒606-8376 京都府京都市左京区仁王門通川端東入大鞠町九六 電話〇七五(七七)〇五〇六 FAX 〇七五(七七)〇五〇四</p> <p>眞首 眞永 眞田 眞恵 眞事 眞同 眞新 眞山 眞智 眞清 眞事 眞長 眞安 眞藤 眞信 眞行 眞事 眞部 眞井 眞照 眞源 眞川 眞合 眞陽 眞雄</p> | <p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四―八 電話〇三三(三三)三三三三 FAX 〇三三(三三)三三三三</p> <p>眞主 眞駒 眞野 眞日 眞法</p> | <p>久遠成院日親上人御霊窟 日蓮宗本山 本法寺</p> <p>重文涅槃図長谷川等伯筆 名勝巴の庭本阿弥光悦作 境内諸堂悉く京都府有形文化財指定</p> <p>〒602-0061 京都府京都市上京区小川通寺ノ内上ル本法寺前町六二七 電話〇七五(四四)七九九七 FAX 〇七五(四四)七九九七</p> <p>眞首 眞金 眞山 眞日 眞龍</p> | <p>日蓮宗大本山 法華経寺</p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二―一―一 電話〇四七(三三)四三三三</p> <p>眞首 眞長 眞渡 眞辺 眞日 眞還 眞事 眞長 眞与 眞関 眞智 眞清 眞康 眞観 眞同 眞同 眞同 眞同 眞同 眞同 眞同 眞同 眞土 眞広 眞新 眞野 眞井 眞智 眞順 眞清 眞康 眞観 眞勝 眞田 眞野 眞観 眞智 眞順 眞清 眞康 眞観 眞宏 眞順 眞清 眞康 眞観</p> |

門連時報

京都門連夏季大学開催

京都日蓮聖人門下連合会(飯田信栄理事長)は、八月二十六日(土)、法華宗本門流大本山本能寺(赤田日崇貫首)文化会館において京都門下連合会主催、京都門下本山会協賛の「第三十七回夏季大学」を開催した。参加者は百二十余名。メインテーマは「二十一世紀に向けての法華信仰の展開」日蓮聖人と共に語る。

十時開講式、十時三十分、第一講「日蓮聖人と女人信仰」。講師は本門法華宗大本山妙蓮寺貫首・杉本日慈現下。全員に渡された講演資料は、御遺文から代表的な女性信者に送られたお手紙類を抜き出し、多方面からの解説を加えた十四頁にも及ぶ立派なもので、各信者のプロフィールから、当時の社会・経済情勢まで、鎌倉時代が身近に感じられ、聖人のこまやかなお心遣いがよくわかったと好評であった。

全門連京都理事会・懇談会 本門法華宗本山妙蓮寺で開催

平成十二年十一月二十七日(月)、本門法華宗本山妙蓮寺(杉本日慈貫首)で「全門連京都理事会・懇談会」が開催され、各本山貫首、門連理事、五十名が参加した。

第七百十八回京都門下連合会 合同御会式開催

京都門下連合会と後援の京都門下本山会は、平成十二年十月七日(土)、本門法華宗本山妙蓮寺に於いて、「第七百十九回京都門下連合会御会式」を開催した。

午前十一時から「全門連常任理事会」を開催。昼食の後に午後一時から「法味言上」。杉本日慈貫首現下が御導師、飯田信栄・杉若恵隆正副理事長を協導師に、妙蓮寺式衆とともに「全門連開創40周年記念法要・全門連物故者追悼法要」が厳修された。その後本堂前で記念写真。二時半から杉本日慈現下の講演「妙蓮寺の沿革」を拝聴した。資料として元禄四年の絵図を用いて妙蓮寺移転の跡をたどられた。また「天文の法乱」、秀吉の聚楽第造営のための替地令、さらに「天明の大火」などの転変の歴史を解説したレジュメも配布された。引き続き、二時半から「理事会懇

できないがゆえに、今のような組織を作っていると分析された。

第三講、「記者の目が訴える、これでもいいか今の日本、「宗教・政治・教育」。講師は京都新聞社会部次長の桑原毅氏。「ストーリー問題」について、事件が起こってからでないといけない警察の対応の悪さ。また京都の小学生殺害事件について、マスコミの取材合戦、真犯人と間違われた青年と家族の被った被害、その容疑者の飛び降り自殺を防げなかった警察の不手際についてなど、現場で動いた人間ならではの興味深い話が聞けた。結論として今の日本に欠けている、宗教と教育の責任の重さを指摘された。



御会式
行脚、妙蓮寺を出発

となつての企画であった「法華文化展(仮称)」は、正式に中止が決議・承認された。またその代替案として、日蓮宗とフジテレビの企画企画としての「文化展」が紹介され、全門連はこれに対して協賛・協力をするとする形での参加を決定した。

| 年月日 | 氏名 | 宗派(役職) | 門連役職 | 就任 |
|---------|-------|----------|------|----|
| 平二・六・二二 | 竹嶋日香師 | 法華宗陣門流管長 | 顧問 | 退任 |
| 平二・六・二二 | 鈴木日艸師 | 法華宗陣門流管長 | 顧問 | 退任 |
| 六・二九 | 松本日望師 | 本門法華宗管長 | 顧問 | 退任 |
| 一〇・一七 | 丸茂龍正師 | 日蓮宗 | 幹事 | 退任 |
| 一〇・一七 | 渡辺言之師 | 日蓮宗 | 幹事 | 退任 |
| 平三・二・一四 | 片山日楽師 | 法華宗本門流管長 | 顧問 | 退任 |
| 平三・二・一四 | 岡本日巨師 | 法華宗本門流管長 | 顧問 | 退任 |

見共同作業所、並びに大山崎共同作業所(福祉施設)による恒例の「福祉バザー」が行われ、売上は両作業所に寄贈された。

全国日蓮門下青年僧 清澄結集 千葉大会

大会主旨
「青年僧 新たなちかい」
宗祖日蓮大聖人が建長五年(一一二五三年)清澄山旭ヶ森に登り、遙か東の海から昇る太陽に向かい「南無妙法蓮華経」と御題目を唱えられてより七五〇年を迎えようとしております。今、時代は混沌とし、多くの人々が不安を抱えています。その中で日蓮宗においては、平成十四年に立教開宗七五〇年を控え慶讃事業を展開しております。

この大切な節目を迎えるにあたり、脈々と受け継がれた宗祖の御心に感謝をし、新たな出発の門出とする為に、「全国日蓮門下青年僧・千葉大会」を開催致します。

日蓮大聖人が熱い思いをもって初めて御題目を唱えられた聖地・清澄にて大聖人の魂を体感して頂き、私たち全国の御題目を唱える青年僧は立教開宗七五〇年を機に、「その思いを実現する為に、何をすべきか」を、自己を省みながら共に考え旭ヶ森に昇る太陽に向かって、今後の私たちの活動への誓い(目標)を掲げる、そんな力強い第一歩となる大会をめざしてまいります。

立教開宗聖地・清澄山へ参集して下さることを心よりお願い申し上げます。

日時：平成十三年五月十一日(金)～五月十二日(土)

開催場所：小湊ホテル三日月・大本山清澄寺・大本山誕生寺

集合場所：小湊ホテル三日月(午後)

▼人事(事務局への連絡日も含む)

千葉大会事務局
〒二九九一五五〇五 千葉県安房郡天津小湊町清澄三二二一 清澄寺内
事務局 遠藤了暉
電話：〇四七〇一九四一〇五二五
FAX：〇四七〇一九四一〇五二七
mailto:PXG00671@nifty.jp

NHK大河ドラマ「北条時宗」のメインテーマ
鎌倉時代「元寇」という、国の一大事あり

「元寇」

土佐光貞

大地震と打ち続く飢饉・疫病。世は混乱し人心は悪に帰す亡国の嵐。遂に大蒙古国の襲来。日本全体を震撼させた未曾有の国難。巻き起こる雷雲、波濤に微塵となる大蒙古の巨船。他国侵襲を予見し、戦乱に直面する人々の悲嘆を同一の苦として日本国を滅亡より救おうとされる日蓮聖人。伝承の典に真実を描く入魂の一幅。

■「立正安国論」を唱えられた日蓮聖人のお姿がNHK大河ドラマ「北条時宗」にも登場!
■復刻版特別頒布/総縁 正絹牡丹唐草・中廻し 中金四重菱二重蔓牡丹・一文字 中金大燈金欄/軸先 金軸
軸総丈159cm×幅51cm 軸寸57cm

頒 価 60,000円(税・送料別)
特製桐箱収納(写真は仏表装仕立です)

お申し込み先 (株)日蓮宗新聞社
〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話 03-3755-5271 FAX 03-3753-7028
※商品についてはお気軽にお問い合わせください/お申込み後、約二週間でお届けします

